

TWS-005 拡張ファジィ論理を応用した2種類の新評定尺度法 (FCR法とIR法)

講演者：小田 哲久 (愛知工業大学)

両極法評定尺度は中心化傾向が生じやすい。FCR法 (ファジィ多項目並列評定法：Fuzzy-set Concurrent Rating method) は、それを改良するために工夫された評定尺度法である。FCR法は、複数 (通常は肯定Pと否定Nの2本) の単極評定尺度を採用し、特殊教示で各尺度への独立応答を実現する。その応答結果 (p,n) からは統合値Iと矛盾度Cが算出される。アルゴリズムには2次元のファジィ論理が適用される。IR法 (改良評定尺度法：Improved Rating method) は、従来の「確信度つき評定尺度法」ともいうべき方法の改良である。改良点は、確信が100%でない場合の理由を選択肢から選ばせ、応答結果からFCR法の応答結果を推定する事。充電済PC持参が望ましい。

TWS-006 声を操る！—STRAIGHT-WORLD によるこそ—

講演者：内田 照久 (大学入試センター)

講演者：森勢 将雅# (山梨大学)

講演者：中島 祥好 (九州大学)

このワークショップでは、ヒトのコミュニケーションの土台を担う“声”を自由に操る方法を紹介します。現在、わが国で開発された、世界でも最高水準の音声の変換方式を、身近に使える環境が整ってきました。それを活用して、心理学の研究の自由度をいっそう広げていくことをめざします。声の、“高さ”、“音色”、“時間”を操るからはじめて、“田舎なまり”、“ささやき声”、“他人の声”から“歌声”まで、あれこれ色々作ってみます。また声の操作に、性格検査やリスニング・テスト、顔の表情や仕草を組合せて、アイデア次第で第一線の研究もできる潜在力を見てみます。さらに、「10万円のできる聴覚実験！」のコーナーも予定しています。